

プロジェクト名	文京Storty作成プロジェクト
プロジェクトリーダー名	文京 花子 (サークルtomo代表)
プロジェクトの実施団体	文京Stoty作成チーム
主な活動分野・テーマ (自由記入)	地域の情報発信、商店街の活性化、地域のつながりづくり
新たな公共重点テーマ の該当(選択)	該当する「まちの資源を活かした地域ブランディング」
プロジェクトの概要 200字程度  (どのような地域課題の解決 を目指して、どのような事業 で、どのような成果を生み出 したいか)	文京区在住の幼い子のいる母親が子育てと仕事を両立させる機会の拡大と、区内の商店街の活性化を目指し、編集・執筆経験のある母親を中心に、地域に暮らす女性の視点による地域密着編集プロダクションを立ち上げ、商店街と地域を紹介する冊子を、携帯サイト、LINEと連動させて展開する。それによって子育て女性のつながり、新住民と商店街のつながりなどをつくっていく。

プロジェクトの基礎情報

プロジェクトリーダー	所属・肩書			
	住所	(事務所・自宅)		
	電話	FAX		
	電子メール	携帯電話		
連絡担当者連絡先  (プロジェクトリーダー が兼ねる場合は 氏名のみ記入)	氏名	所属		
	住所	(事務所・自宅)		
	電話	FAX		
	電子メール	携帯電話		
プロジェクト開始年月	2013年5月			
プロジェクトに関する WEBサイト、blog、SNS のURL、アカウント名	プロジェクト独自のサイトは未完成。ただし、サークルtomoのブログ(cc-tomojo)とfaebookにて活動情報を発信中			
このプロジェクトの申請 時までの主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育てママに優しい商店マップを作成(2013年6月)</li> <li>・tomoのブログにて、商店インタビューを掲載(2013年7月～。2013年10月1日現在、5本掲載)</li> </ul>			
プロジェクト実施のコ ア・メンバー(リーダー 以外)の名前と所属	氏名	所属・役職	年齢	本プロジェクトでの役割
	鈴木文子	編集長	39歳	編集、企画のリーダー
	山田紀子	営業	29歳	営業、企画、ライター
	佐藤有紗	デザイナー	33歳	デザイン、イラスト、取材
プロジェクト運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記メンバー以外に、ライター経験メンバー(3名)、デザイナー(1名)と共に、月2回の編集会議を開催</li> <li>・在宅勤務が基本となるため、クラウド環境による勤務管理。取材時には、子どもの預け合いも行う</li> <li>・現在、運営基盤として、編集会議メンバーと商店街、印刷会社の方が参加し、任意団体「文京story」の設立準備中</li> </ul>			

# 文京ソーシャルイノベーション・プロジェクト登録シート 2 (アイデア)

## 1. 対象とする地域課題と、解決の方法は？

地域課題	① 対象とする地域課題は？	文京区には出版や印刷の会社も多く、住んでいる人にもライターなどの経験者が多い。そのような編集等の職能が高いにも関わらず、保育園の入所条件が厳しく、幼い子どもがいるとフルタイムで仕事が決まっていないと預けられないため、出産により退職した女性が職を持ちにくい状況となっている。また、伝統があり、地域の歴史にも詳しい商店街のお店が多いのに、新住民との接点が少なく、活性化できていない。
	② なぜ文京区でこの取り組みをしたいのか？	文京区は出版、印刷の街というイメージがある。また子育て支援にも熱心な取り組みがある。そこで子育て中の女性が地域の印刷会社や商店街と組んで、地域の情報発信に取り組みむことは話題性もあり、地域の人たちの関心を得やすい。
	③ プロジェクトの対象者(地域課題の現場で困っている人、または自分の可能性に気づけていない人)は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼い子(0~3歳)を抱える女性で、編集やライターなどの豊富な経験をもち、働きたいと思いつつも、子どもが保育園に入れないために働くことをあきらめている人</li> <li>・新しく地域に引っ越してきた人で、商店街と接点のない人</li> <li>・歴史ある商店街なのに、情報発信ができず、苦しい状況にあるお店の方</li> </ul>
解決策	④ プロジェクトによって生み出したい地域の未来(ビジョン)	文京区で子育て中の女性が、地域のかかわりの中で仕事を見つけていけ、仕事と育児を含めた生活の選択肢が広い地域となる。また、新しく住む人にとって、地域の歴史やお店とのつながりが持ちやすい地域となる。
	⑤ ビジョンを実現するには、どのような取り組みをすべきか？	編集などの職能が高いが、働く機会を持っていない女性が中心に取材し、商店街の情報発信を冊子と携帯サイトを中心に行う。さらに、LINEを使ってのクーポン発行も行う。会員である子育て女性、新住民同士で、また彼女たちと商店街の人がオンラインで交流する。年に数回、パーティを行うことで交流を深める。
	⑥ このプロジェクトの独自性は？ 類似の地域課題を扱う既存の民間・行政の活動と、どのような点が違うのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集等の職能が高い女性が核となることで、質の高い地域情報発信ができる</li> <li>・情報発信だけでなく、地域のつながりづくりを組み合わせている点</li> <li>・商店街が、若い女性にとって日常的に使いやすい冊子と携帯サイト、LINEなどのメディアを活用できる</li> </ul>

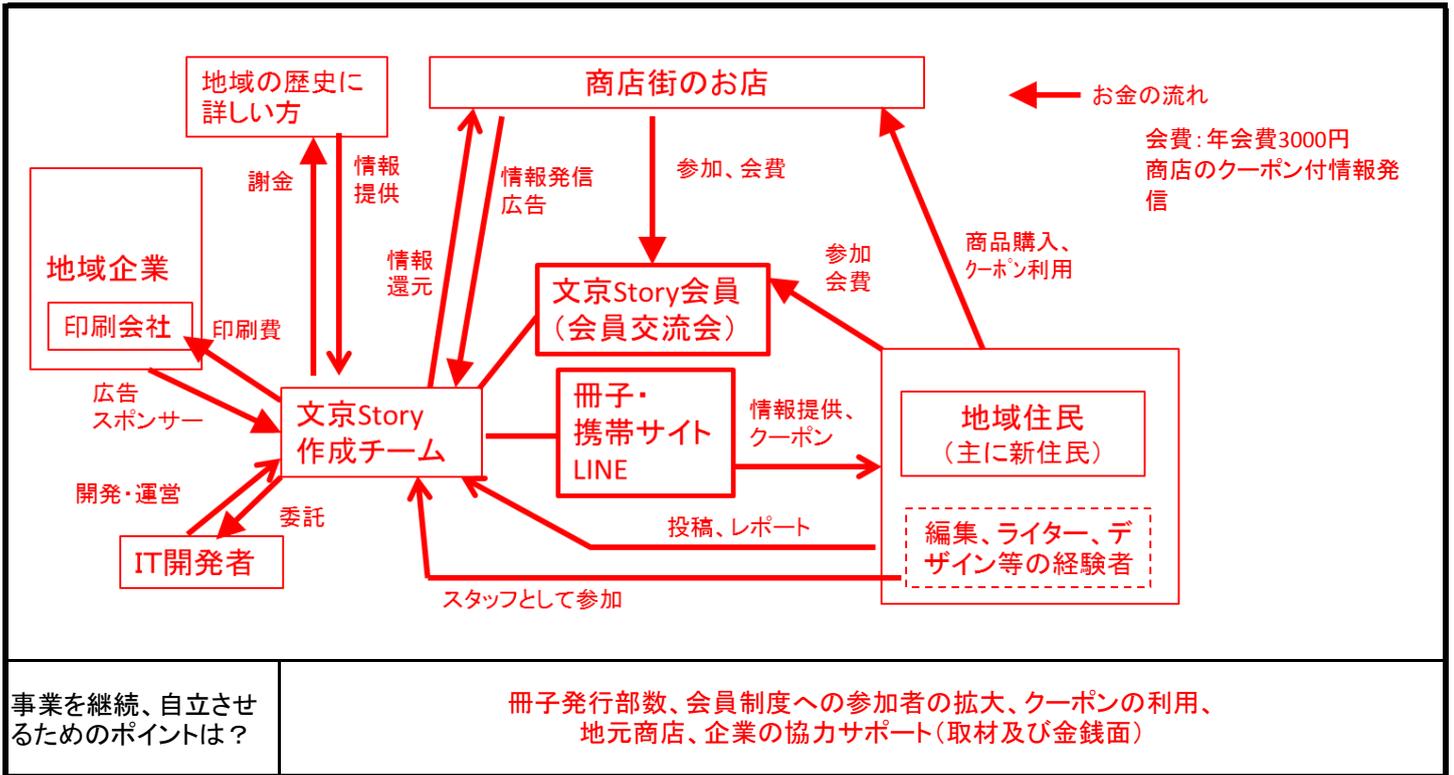
## 2. プロジェクトで取り組む事業内容

① ビジョンを実現するには、どのような文京区の住民や地域コミュニティが、どのように参加、協力することが必要？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集等の職能を持ちながら、働く機会を持っていない小さな子どもをもつ女性たち→情報発信者として</li> <li>・子育て中の女性たち →編集チーム、取材等の協力、会員として</li> <li>・新住民の方 →情報利用者、会員として</li> <li>・商店街の方 →情報発信者、会員、スポンサーとして</li> <li>・地域の高齢者の方 →地域の歴史の話し手として</li> </ul>
①-2 地域住民が協力・参加してくれる理由は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子どもがいながら参加できる機会</li> <li>・生活する人の視点での情報発信の価値</li> <li>・商店会や地域のことを知る機会が増えることで、商店街の魅力が向上する</li> </ul>
② ビジョンを実現するために、必要な専門家、支援者は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員制度の構築の専門家</li> <li>・印刷会社など冊子の印刷の協力</li> <li>・携帯サイトなどとの連動させるIT技術活用の専門家</li> <li>・地元企業nなどのスポンサー</li> </ul>

# 文京ソーシャルイノベーション・プロジェクト登録シート 3 (アイデア)

## 3. 事業モデル

継続的、自立的に事業を展開するための関係者との関係、提供価値、お金の流れを整理してください



### 4-1. 生み出したい成果、波及効果

① 事業によって直接生み出したい成果(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報の発信量の拡大</li> <li>・クーポンの利用による商店街の活性化</li> <li>・会員制度を通じたつながりづくり</li> <li>・子育て中の女性が自分のペースで働ける場</li> </ul>
② 生み出したい社会への波及効果(アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立しがちな都心の子育て母が地域とつながり、豊かな暮らしを送る</li> <li>・地域商店街を舞台にした、地域住民のつながりづくり</li> </ul>
③ 成果を評価するための基準・方法は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報利用者数(冊子、携帯など)</li> <li>・クーポン利用率</li> <li>・会員の数、交流会の参加者数</li> </ul>

### 4-2. これからの事業展開イメージ

いつごろ	どのような事業の規模、内容になり、どのような成果を生み出している？
4か月後	冊子第1号の発行。第1号を用いてマーケティングテストと白山地区商店街の協力者、企業スポンサーを募
8か月後	冊子第2号の発行。運営スタッフの拡充。会員制度を本格的に立ち上げ、第1回交流会を開催する
1年後	情報発信の運営の仕組みを確立し、継続的な情報発信を行えるようにする
2年後	白山～本郷地区と中心に、クーポン商店 40店、有料会員500人を目指す
3年後	区内全域の商店で展開。クーポン店100店、有料会員2000人を目指す

## 文京ソーシャルイノベーション・プロジェクト登録シート 4（実行力）

5. 地域課題の把握、ニーズや社会資源の調査、課題解決法の検証について、取り組んできたことをは？

・サークルtomoで、地域の母親仲間(20名)と、過去の職業と地域でできそうなことをインタビューを実施  
 ・tomoブログで商店街のマップと紹介記事を掲載。読者、商店の方からの反応から、お店情報+地域情報にニーズがあると考えている

6. 事業の構築・展開をしていくために必要な社会資源やノウハウについて、協力・支援を得ている団体、専門家は？

団体、個人の名称	協力・支援の内容
ミズキさん(元情報誌ディレクター)	地域情報誌の編集についてのアドバイス。スタッフ向けのインタビュー・記事作成講座
〇〇社	地元印刷会社で、中心メンバーの元勤務先。印刷や情報システムについて協力をいただく

7. プロジェクトの構築・展開に向けて、文京区の住民、企業・団体、地域コミュニティ等とのネットワークの状況は？

・サークルtomoを通して培ってきた地域の母親たちとのネットワーク  
 ・過去に子育てマップを作成した経験で、知り合いの地元商店街や企業等とのネットワークあり(そこからの紹介で、スポンサー営業をしていく展開を想定している)。地元△△商店会から、商店会としての協力をいただいている。

8. このプロジェクトの事業モデルを、これまで試行や事業として実践していますか？ その実施内容・規模は？  
 また、試行・実施している場合、成果をどのように評価していますか？

・ママに優しいマップづくりでは、商店会がスポンサーになっていただき、発行。500部が1週間でなくなり、追加で500部を発行。  
 ・ブログのお店紹介で、記事の読者、先着20名にプレゼントを提供してもらったところ、5回とも全て利用。クーポンへのニーズ高い。

9. 3年後(2016年度)、年間の事業規模は、どの程度になると考えていますか？

「サービスを提供する対象者者の数」「利用料・スポンサー・寄付などの収入」「運営コスト」の想定を書いてください。

・区内10商店街とクーポン利用100店  
 ・季刊での冊子発行 各回 4000部  
 ・冊子、オンラインでの情報利用 ユニークユーザー 6000人  
 ・会員 2000人  
 ・ライター、デザイナーの登録制度の確立 20名  
 ・年間売上規模 2,000万円

【事業の内容、構築、今後の展開などについての自由記入欄】

文京区のもったいない人材、商店街を活かす事業を企画しています。  
 地域密着で、一人一人を大切に事業を展開したいと考えてます。

## 文京ソーシャルイノベーション・プロジェクト登録シート(既存活動団体用シート)

今回、登録するプロジェクトが、NPO、地域活動団体、企業など、これまで活動・事業を行ってきた団体内のプロジェクトとして実施する場合、

このシートも、必ずご記入ください。

(個人や個人、個人と団体の共同体など、新しい運営主体(任意団体も含む)を 立ち上げる場合は、記入する必要はありません。)

既存1. 団体の主な事業・活動の内容、これまでの主な実績は？

--

既存2. これまで取り組んできた事業・活動に加えて、本プロジェクトに取り組む団体にとっての意義は何ですか？

また、これまでの事業・活動と比較して、どのような新しい要素(地域、対象者、社会資源など)を加えていますか？

新たに本プロジェクトに取り組む意義	
新しい要素	

既存3. 本プロジェクトが成功した場合、これまでの事業・活動との相乗効果は、どのようなことだと思いますか？

特に、地域課題解決の規模、効果についてご記入ください

--